

ほんじつ
本日のおすすめの本 (51)

がっこうとしょかん
～学校図書館だより号外～



ブックマ

令和3年2月12日

横浜市立本牧南小学校
学校司書 青木美佳

『みんなはアイスをなめている』



～おはなしSDGs 貧困をなくそう～』

やすだか 菜 著 2020年初版 講談社 貸し出し可(3の善編)

は い ほん あたらしく入った本です！

テレビに映し出されるアフリカの子どもたち。あばら骨が出て、今日食べる物もない状態を見て、「貧困」とはこういうことだと思ふことがあるでしょう。

では、日本はどうでしょうか？

学校へ来ればおいしい給食がいただけます。どこでも、じゃ口をひねれば水がでます。手を洗い、水を飲むこともできます。スーパーには、食べ物がたくさんならべられています。まだ食べられるのに、捨てられることもたくさんあります。

わたしたちは、着る物も、きちんと着ています。着るものがなくて、裸で学校へ来る人はいません。

だから、日本は「貧しさ」とは無縁なのではないでしょうか？

……そんなことは、ありません。

もし、あなたが、一日の食べ物を250円以内ですませなさいといわれたら、それが、できますか？

この本は、みんなとは何かちがうと感じたら、それを助けられる大人や、相談していっしょに改善してくれるところがあることを、知ることができます。

目をそむけてはいけない、しっかりと取り組むべき課題です。

そして、「生活の貧しさ」は、決して、はずかしいことではありません。「心の貧しさ」や「見て見ぬふり」の方が、よほどはずかしいことなのです。

困ったときは、必ずだれかに相談しましょう。いっしょに考え、よい方向へ導いてくれる人がいることを覚えていましょう。本を読むことも、その入り口かもしれません。